

住民説明会質問(第二次佐久市総合計画)

質問事項	回答
<p>1 市のホームページに掲載されているパブリックコメントにおける総合計画の案を見ましたが、分量が多いです。 ホームページに掲載されているもののほかに、より具体的なものは何かあるのでしょうか。</p>	<p>ホームページに載せているものが計画の案であり、その他には特にありません。</p>
<p>2 長野県内には信州大学がありますが、全体として大学が少ないです。 佐久市に企業が来て、200人、300人雇用しようということになって、若い優秀な労働力がいないのではないのでしょうか。</p>	<p>市内での労働力の確保については、首都圏などに進学した者に向けて、インターンシップ事業や市内企業の紹介をしています。 なお、佐久市と信州大学は包括連携協定を締結して、各種事業を進めています。</p>
<p>3 全国学力テストについて、佐久市は結果を公表していませんが、なぜ公表していないのでしょうか。 公表している市町村もあるので、学校格差などの問題もありますが、教育委員会にも公表すべきとの意見を伝えて欲しいです。 公表すると、競争になって良くないとの意見もあると思いますが、教育レベルを上げるためにも必要ではないのでしょうか。 企業によっては英語ができないと採用されないということもあると聞きます。 英語教育の充実について、予算を確保して、しっかりと進めて欲しいです。 発展や人口の増加を目指しても、人材がないと始まらないのではないのでしょうか。</p>	<p>公表した方が良いとの意見があったことについて教育委員会に伝えます。 「ひとづくり」が必要であることについては、「I はじめに」の「3佐久市の主要課題」の(2)に定めています。 子どもだけでなく、暮らす方全ての「ひとづくり」が対象になると思いますが、様々な取組を進めていきます。 また、具体的なところについては、ご意見をいただければと思います。</p>
<p>4 松本・佐久間の高規格道路について、佐久南インター周辺に接続するようになると良いと思います。 この道路がさらに首都圏と接続されて、首都圏の地震の際にも活用できるようになると良いです。 将来、佐久市周辺の市町村立ち行かなくなった場合に、佐久市への人口流入が加速化すると、インフラなどに対する考え方も変わってくると思います。 その中で一番の問題が市役所も今の位置で良いのか、建て替えるのかということだと思います。 熊本地震のように庁舎が被災すると地域の支援を行うことや、安全な暮らしを守ることができないので、庁舎の耐震化も重要です。</p>	<p>松本・佐久間の高規格道路については、県からも具体的な構想はまだ示されていませんが、整備に向けた活動を進めていきたいと考えています。 まずは、中部横断自動車道の全線開通に向けて取り組んでいきたいと考えています。</p>
<p>5 どの市町村でも行うような一般的な表現の記載が多く、実際に何をやるのか、どこに力を入れるのかが分かりにくいです。 「健康長寿」に関連して、年金が下がり、国保が上がっているという現状があります。 他の自治体を見ると、国保を下げているところもあるので、そのような施策をお願いしたいです。</p>	<p>具体的な取組は基本計画に記載しているので、確認いただければと思います。 施策の中で、特に力を入れていきたいと考えているのは、「人口減少の克服」と「健康長寿の推進」の取組を進めていこうというところです。 施策大綱(政策分野)では、東日本大震災などを踏まえて、第一次総合計画では市民協働などと同じ政策分野だった防災、安全の項目を分けて独立させたこと、行財政「運営」から行財政「経営」に考え方を改めたことなどがポイントになると考えています。</p>
<p>6 人口減少について、佐久平地区は人口が上昇していますが、臼田地区などではそうではないように思われます。 地区ごとの人口の増減、年代別の増減を調べて、地区ごとにどのような施策が必要か考えるべきではないのでしょうか。 基本構想は佐久市全体かもしれませんが、地区ごとについても考えていくべきではないのでしょうか。 臼田高校の閉校が人口減少につながっていると思います。 岩村田高校の機械科を臼田地区に持ってきても良いのではないのでしょうか。 臼田地区には高齢の方も多いますが、そこに若い方を入れるにはどうしたら良いか、他の地区はどうしていくのかといったことを検討すべきではないのでしょうか。 待機児童の状況は、地域によって違うと思いますが、児童館は良い取組だと思います。 他の自治体では、学童クラブなどで有償のところがある中で、働く人が多い中で1学校1児童館の考え方で無償で行っているのは機能していると思います。 子育てをする若い人を受け入れていく中で、このような仕組みをPRしていくと良いのではないのでしょうか。</p>	<p>昨年度、「佐久市人口ビジョン」を定め、地区ごとの人口の増減の推移を出していますが、地区ごとの特徴を見ながら、まちづくりの計画を定めていきたいと考えています。 臼田地区では「生涯活躍のまち」に取り組んでいますが、佐久総合病院がこれまで取り組んできた地域医療という地域の特徴を充実させていきたいと考えています。 ライフステージに応じた施策をしっかりと行っていきます。 企業誘致をすることで、働く場を生み出し、生産年齢人口を増やしていきたいと考えています。 また、出生率向上のため妊産婦医療費助成や第三子以降保育料無料化などに取り組んでいます。 高齢者については、全国有数の佐久総合病院もありますが、移住の場合の住所地特例の制度もあるので、移住促進についても取り組んでいきたいと考えています。</p>
<p>7 6章の「暮らしを守る安心・安全のまちづくり」の中に、「防災体制の強化」の記載がありますが、災害時の避難路などを定めた計画は含まれているのでしょうか。</p>	<p>避難路などを定める地域防災計画の見直しをしっかりと行って、防災体制の強化をしていくことを6章の中で定めています。 また、災害時の復興復旧の業務を円滑に行うため、業務継続計画の策定なども定めています。</p>

	質問事項	回答
8	<p>将来都市像の主題である「快適健康都市」は賛成。佐久市はこれで行くべきだと思います。</p> <p>副題の「選ばれるまち」は分かりにくいので、「住みたくて選んでいる」ということなので、「住みたくなるまち」とすれば良いと思います。</p>	<p>現在佐久市に住んでいる人にも住み続けてほしいことと、佐久市外の人にも住みたいと思ってもらいたいということで広く「選ばれるまち」としています。</p> <p>また、「佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の副題である「若い世代の希望をかなえ 選ばれるまちを目指して」と合わせて、多くの人に選んでもらいたいという意で現在の副題案としています。</p>
9	<p>人口減少が一番の課題だと思いますが、佐久市の企画部門は何をポイントとして、具体的にどこに力を入れて人口減少に歯止めを掛けようとしているのか分かりません。</p> <p>出生率を上げることにも取り組まなければいけません。若者が高校卒業後に都会に出て、結婚相手とともに戻ってくると良いですが、戻ってこないというのが、人口減少に大きな影響を及ぼしているのではないのでしょうか。</p> <p>全体として、一般的な施策の羅列となっていて、全体として佐久市の企画部門が何をしようとしているのか分かりません。</p>	<p>自然増減(出生と死亡の差)はマイナスですが、社会増減(転入と転出の差)が毎年100人くらい増えてプラスとなっています。</p> <p>社会増を生み出す市の強みである高速交通網の結節点としての優位性などを生かして、転入者を増やしていきたいと考えています。</p> <p>昨年、理想の子ども数を聞いたアンケートでは(実際の出生率に対して)2.44という数でした。</p> <p>そのため、第3子以降の保育料無料化や妊産婦医療費助成などの財政的支援に力を入れて、出生率向上に取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>ハードからソフトへの転換が求められている中で、地域の特徴を生かした取組として、健康長寿で住みやすいまちづくりにも力を入れていきたいと考えています。</p>
10	<p>総合計画に定める「安心・安全」についてどのように考えているのか</p>	<p>熊本地震のような大規模災害の発生や、特殊詐欺の多発のような社会不安から、安心・安全を求める意識が高くなっていると考えています。</p> <p>防災、消防、防犯などの分野において、市民が安心・安全を実感できるように、取組を進めていきたいと考えています。</p>
11	<p>総合計画なので、網羅的に取組を定めることは良いと思いますが、特に、人口減少対策と教育に力を入れることが強調されていると思います。</p> <p>社会増はプラスという説明があったが、若い人が社会増で来るのは良いですが、60代、70代の方が来ても、福祉・介護の面でお金がかかるようになるのではないのでしょうか。</p>	<p>「佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の副題でも「若い世代の希望をかなえ 選ばれるまちを目指して」ということで、特に若い世代により力を入れた取組を進めることとしています。</p> <p>特徴を生かす中で、移住先として佐久市を選んでいただくのは中年の方、シニアの方でも良い面もあると考えています。</p>
12	<p>市内の教育を充実しても、東京の方の学校に出て行ってしまいます。</p> <p>Uターンして、佐久市に戻って結婚、出産となると良いですが、実際には市内に働く場がないことから、戻ってこないようです。</p> <p>戻ってきてもらうためには、企業誘致などで働く場があることが必要だと思うので、難しいところもありますが、ぜひとも色々な仕方を先進地、成功例を参考にして、優遇措置なども含めて検討してほしい。</p> <p>学校を出て戻ってきても働くことができるということで、そこに力を入れて、強調した総合計画としてほしいと思います。</p>	<p>ご意見を参考とさせていただきます。</p>
13	<p>総合計画策定に当たってのアンケートで「住みやすい」と感じている人の割合が上がっているのは素晴らしいと思います。</p> <p>市民の声であるアンケートを重要視して生かしていくということで、住みやすさにつながる子育て環境をより良くしようというのは説明の中でも出たと思いますが、その他にアンケートをどのように活用していくのでしょうか。</p>	<p>約6割の方に回答いただきましたが、目指すまちの姿について聞いた結果、「健康長寿のまち」を目指すという回答が一番多かったことから、将来都市像である「快適健康都市」を定めるのに当たり、参考としました。</p> <p>また、より力を入れていくべき施策は何かという点などについても参考にさせていただきます。</p>
14	<p>総合計画を審議している佐久市総合計画審議会では、市民の意見を取り入れているのでしょうか。</p> <p>市民を何人か入れて審議したものを、PDCAサイクルで見直していくのが良いのではないのでしょうか。</p> <p>総合計画審議会の部会では積極的な意見が出ているのでしょうか。</p>	<p>審議会は、各種団体からの委員や、区長のほか、7名の枠で公募した3名の公募委員も含めて、市民の意見を取り入れる形で審議しています。</p> <p>前期基本計画の詳細な内容について、3つの部会でそれぞれ5回の審議を行っていますが、非常に活発なご審議をいただきました。</p>
15	<p>市の説明会では、〇〇計画とか〇〇素案というものが多くありますが、それぞれの関係が分かりにくいので、ご検討いただければと思います。</p>	<p>最上位の総合計画なので、全ての計画を網羅しているものになります。</p> <p>現在、市のホームページに掲載している関連図は最新ではありませんので、更新したいと考えています。</p>
16	<p>こういう説明会に来ると、説明を聞いても分からずに帰ることが多いです。</p> <p>例が付いている前期基本計画の「幼児教育」も、具体的に何をするのか書いていないので、あまり意味がないと思います。</p> <p>総合計画なので、大きな視点で書いているというのは理解できますが、例えば幼児教育について、どういう人達が、どういう形でやっているのか、市民参加があるのか、どうかというのがこの説明だけでは分かりません。</p>	<p>総合計画であり、分量もあるため、全体の施策体系と最初の「幼児教育」の記載例を紹介しています。</p> <p>計画案の全体については、支所や企画課、ホームページなどで確認いただければと思いますが、連絡いただければ説明させていただきます。</p> <p>この後の国土利用計画も佐久市で土地を使っていくための最上位の計画になるため、網羅的な内容となっており、〇〇事業を△△で行うというところまでは定めていませんが、地域ごとのゾーニングについては定めています。</p>

	質問事項	回答
17	<p>ここに書いてあることは読めば分かります。 知りたいのは、市が具体的に何を考えていて、何をするのかということ ことです。 具体的なことを少しずつ話していただいた方が実感として分かると思 います。 市がどのように住民の意見を取り入れて進めていくかを知りたいで す。</p>	<p>大きな課題として捉えているのが、人口減少社会であるということ です。 平成27年度から人口減少を踏まえた対策として総合戦略を策定し ており、その流れを踏まえて、人口をできる限り減らさないという観点 で総合計画を策定しています。 年齢区分別の人口を見ると、18歳から市の人口は減っていて(転 出していて)25歳くらいに戻ってきます(転入している)が、全ての人 が佐久市に戻ってきている訳ではありません。 アンケートなどを行いました。その理由としては、働く場の確保 や、経済的な問題が課題であることが分かりました。 そこで、若い人向けに働く場を確保し、それによって所得を確保す るということに取り組んでいます。 企業誘致だけでなく、市内の産業への支援も行っているほか、東京 に出た学生などを対象にして、佐久市の企業の紹介などもしていま す。 佐久市に戻ってきて安心して出産いただけるように、市で婚活を支 援したり、第3子以降保育料無料化、妊産婦医療費助成などの施策を 行っています。 また、首都圏から近くて、移住先などとして選ばれる強みがあること から、社会増を増やしていきたいと考えています。 元気なお年寄りに来ていただき、地域を担っていただくという取組も しています。</p> <p>あわせて、地区にはそれぞれの特徴がありますが、その特徴を伸 ばしていくような取組も進めていきたいと考えています。 例えば望月地区であれば、長者原で農業に従事しているような若い 人の人口が増えているので、そこに、てこ入れをしていきたいと考 えています。 臼田地区であれば、佐久総合病院という強みがあるので、そこを生 かしたまちづくりをしていきたいと考えています。</p>
19	<p>説明会が、説明会を実施したという実績づくりになってしまっている と思います。 どういう人に集まって聞いてほしいのか、というねらいはあるので しょうか。 どの会場で、どういう人が聞きに来たということとまとめていただき たい。 例えば、施策の窓口を紹介するようなものがあったら良いのではな いでしょうか。 説明がおおまかになるのは仕方がないと思いますが、取組方自体 を工夫して欲しいです。</p>	<p>全てを説明することは難しいので、きっかけになる部分を説明会 でお話し、そこから進めていきたいと考えています。 総合計画と国土利用計画は、その素案を総合計画審議会 で審議いただきますが、いただいた意見をフィードバックしていきたい と考えています。 どういう人が聞きに来たのか、ということを出すのは難しい状況で す。 頂いた意見はまとめて出していきたいと考えています。 これまでの説明会の中では、本日同様に計画が網羅的で特徴がな いといった意見や将来都市像についても意見を頂きました。</p>
20	<p>「地域」という語が多く出てきますが、どこを指しているのでしょうか。 この言葉が何を指すのかという説明書きがある良いと思います。</p>	<p>「地域」という語は、計画の中では佐久市全体を指したり、個別のエ リアを指すように文章の流れの中で意味合いが変わってくるので、定 義することが難しいものとなります。 ただし、より狭い範囲の個別のエリアは「地区」という語を用いるよ うに使い分けをしています。 「地域」という語は説明を記載することが難しいですが、その他の分 かりにくい語には用語解説を設けています。</p>